

10/15 食をテーマに講演会

置戸町青年団体連絡協議会の70周年記念事業講演会がTEAM NACSの森崎博之さんを講師に迎え中央公民館で開催されました。「生きることは食べること」をテーマに「簡単に食べられる安い物が世の中にいっぱいありますが、本物は畑にある。食べることを見直せば生きることを見直すことができる」との話に来場者は興味深く聞き入っていました。



10/16 生ごみを堆肥化し還元

各家庭から排出された生ごみを主原料として製造した生ごみ堆肥の町民還元が10月16日、町堆肥供給センターで行われました。この日は、十分に発酵が進み、湯気の立ち上るホカホカの堆肥60トンが用意され、集まった160世帯余りの町民へ無償で還元。有機質に富み、土壌改良剤としての効果が期待できる生ごみ堆肥は、家庭菜園や花壇づくりに用いられます。



10/26 ぽっぽ絵画館NPO法人へ

置戸ぽっぽ絵画館が10月、北海道知事の認証を受けNPO法人となり、設立記念セレモニーが同絵画館で開かれました。この日は開館4周年も迎え、東京の画廊宮坂の宮坂祐次さんがお祝いに駆けつけ、「多くの人の努力で法人化を成し遂げ、こんなに嬉しいことはありません」とあいさつ。また、開館のきっかけをつくった画家の岩橋好男さんが歌声を披露し、祝典に華を添えました。



11/2 熱戦、秋季ミニバレー大会

秋季町民ミニバレーボール大会が11月2日に開幕し、選手たちは熱の入った試合を展開しています。今大会には、混合の部に13チーム、女子の部に5チームがエントリー。会場はスポーツセンターが改修で使えないため、小学校、中学校、旧勝山小学校の体育館に分かれての開催となりましたが、選手たちは爽やかな汗を流しながら仲間との交流を楽しんでいました。

